

2025年度 第19回 学生鉄鋼セミナー アンケート結果

【製鉄・製鋼（資源・環境・エネルギー）コース】

- ◆開催日：2025年12月16日（火）～12月18日（木）
- ◆開催場所：日本製鉄株式会社 鹿島人材育成センター
- ◆工場見学：日本製鉄(株) 東日本製鉄所 鹿島地区
- ◆受講生：19名（M1：18名、D2：1名）／アンケート回答17名

1. 本セミナーを何で知りましたか？

※複数回答あり

- ・協会ホームページ：0名
- ・鉄鋼協会からの案内：0名
- ・先生の推薦：12名
- ・先輩のすすめ：6名
- ・その他：0名

2. 本セミナーに参加した動機について

- ・他大学の同分野の学生と交流をしたいため。（多数）
- ・先生から勧められ、研究へのフィードバックをもらえるところが魅力に感じたため。
- ・研究室の先輩に勧められたことに加えて、他大学の人がどのような研究をしているのか興味があったから。
- ・異なる大学の同じ分野を学ぶ学生の話聞く良い機会だと考えたため。
- ・鉄鋼を学んでいる同学年の人たちとの交流をしたいと思います、参加した。
- ・自分の分野と近い他大学の研究紹介を聞くことで、測定手法や考察の新たな知見を得る良い機会だと思ったから。
- ・他大学とのつながりを作るため。勉強のため。
- ・工場見学を通じて実際の製造現場を学べる点に加え、自身の研究発表を行い、企業の方や他大学の先生方からアドバイスやコメントをいただきたいと考えたため。
- ・本セミナーを通して、他大学の近い分野の研究について知ること、自分の研究に取り入れられる考え方や刺激を得たいと思い、参加した。
- ・先輩が参加しており、多くの仲間と出会えると聞いたから。

3. セミナーはいかがだったでしょうか。

1) 会社紹介

- ・非常に役立った：12名
- ・やや役立った：4名
- ・あまり役立たなかった：1名
- ・ほとんど役立たなかった：0名

2) 講義

- ・非常に役立った：14名
- ・やや役立った：3名
- ・あまり役立たなかった：0名
- ・ほとんど役立たなかった：0名

3) 研究開発事例紹介

- ・非常に役立った：13名
- ・やや役立った：4名
- ・あまり役立たなかった：0名
- ・ほとんど役立たなかった：0名

4) 自分の発表へのコメント

- ・非常に役立った：15名
- ・やや役立った：2名
- ・あまり役立たなかった：0名
- ・ほとんど役立たなかった：0名

5) 他学生の発表

- ・非常に役立った：17名
- ・やや役立った：0名
- ・あまり役立たなかった：0名
- ・ほとんど役立たなかった：0名

6) 懇親会

- ・非常に満足：16名
- ・おおむね満足：1名
- ・あまり満足していない：0名
- ・ほとんど満足していない：0名

7) 工場見学

- ・非常に満足：4名
- ・おおむね満足：4名
- ・あまり満足していない：8名
- ・ほとんど満足していない：1名

4. 満足あるいは満足できなかったところを具体的に教えて下さい。

1) 満足できたところ

- ・研究発表や懇親会を通じた学生同士の交流ができた。(多数)
- ・他の学生の発表がとても参考になった。質疑応答の時間が長かったので、細かいところまで聞いたのが良かった。
- ・研究について、新たな視点を得られ、同じような研究をしている学生と意見を交換でき、非常に良かった。また、懇親会では他大学の学生と交流を深めることができて良かった。
- ・改めて自分の研究に対する意見を聞くことができ、今後の方針の参考になるとともに、研究のモチベーション向上につながった。
- ・セミナー全体を通じて他大学の学生と交流する場が多く、多くの友人ができたことが一番の満足点だった。
- ・専門的な話を共有できる仲間を得られたことは、今後の大きな糧になると感じた。
- ・懇親会でほかの鉄鋼を学んでいる人たちと交流できたのが非常に良かった。前回の秋季鉄鋼協会にて自身の発表を聞きに来てくれた人たちと再会でき、さらに交流を深めることができてとても良かった。
- ・製鉄の分野で似たような研究を聞くことは滅多にないので非常に興味深かった。
- ・色々な先生と話せた。他学生の発表が興味深く、また気軽に質問しやすい雰囲気だった。懇親会での交流が楽しかった。
- ・他大学の先生や企業の方からアドバイスやコメントいただけたことが、今後の研究・活動の参考になったため良かった。
- ・他大学の学生の発表を聞いたり学生間で質問をし合ったりすることができて良かった。
- ・就職のことなど、企業の方や先生方に色々相談ができて良かった。
- ・講義について、製鉄・製鋼や鉄鋼業の現状について知ることができて良かった。
- ・他学生の発表を聞くことで、プロセス全体の背景や面白い研究について知ることができた。

2) 満足できなかったところ

- ・工場見学において、製鋼設備が稼働していなかったこと。(多数)
- ・会社説明について、もう少し詳しい情報が欲しかった。また、どんな鉄を作っているのかも、もう少し

し知りたかった。

- ・自分は製鉄グループだったが、製鋼グループの研究内容も知りたかった。
- ・工場見学について、タイミングの問題もあると思うが、実際に設備が稼働している様子を直接見ることができなかった点が少し残念だった。迫力のある製造工程をより間近で体感したかった。
- ・操業上仕方がなかったが、工場見学において転炉や連続鑄造の稼働しているところが見られなかったこと。
- ・工場見学について、タイミングの関係で高炉以外があまり見ることはできなかった。

5. 今回のセミナーで印象に残った内容は何か。

- ・会社紹介：0名
- ・講義：2名
- ・研究開発事例紹介：0名
- ・自分の発表者へのコメント・アドバイス：3名
- ・他学生の発表：11名
- ・工場見学：1名

どんなところが印象に残ったか具体的に教えて下さい。

- ・材料系の方の発表を聞いたのは初めてだったので、とても勉強になった。また、化学工学の部分でも、アイデアを色々得ることができたので良かった。
- ・他大学の教授による講義ということもあり、普段は聞くことのできない内容や教授の考えに触れることができ、新たな視点を得ることができて非常に勉強になった。
- ・自分の研究で今後使えるかもしれない定量評価方法を知ることができた。
- ・自身のテーマは銅に関するものだったが、他学生の発表には非常に多くの学びがあった。分野は異なるが、プロセスや反応の考え方など共通する部分も多く、自分にはない視点やアプローチに触れることができ、非常に新鮮で勉強になった。
- ・自分に近い研究をしている人が周りにいなかったため、他の人の研究を聞いて、自身の研究のモチベーションにつながった。
- ・講義で工場見学における注目すべき点などを解説していただいていたため、実際の工場見学では、製造プロセス全体の流れや各工程の役割を意識しながら見学することができ、非常に印象に残った。
- ・他大学の研究紹介にて、聞いたこともないような測定手法の研究について聞けたり、自分の研究について意見交換をしたり、知見を深められたこと。
- ・悩んでいた事柄について、今後の研究に役立つような適切なアドバイスがいただけた。
- ・他大学の学生の中に、自身の研究室の研究内容と近いテーマに取り組んでいる方が複数おり、研究の進め方や着眼点の違いを知ることができた点が非常に興味深かった。また、発表をきっかけに学生同士で情報交換や意見共有ができたことも印象に残っている。
- ・製鉄プロセスの歴史に関する講義がとても面白かった。
- ・研究紹介ではテーマの近い学生の話を知ることができて良かった。研究手法や今後の予定など自分の研究にも参考にできる点が多くあった。
- ・同じ製鋼分野の研究であっても、研究室によって研究内容に大きな違いがあることに驚いた。他学生の発表を聞いて、分析手法や考察の組み立て方など学ぶことが多くあり、貴重な経験であった。
- ・自分の研究に対して様々な視点でアドバイスをいただいた。
- ・これからの研究指針に生かせるコメントをいただいた。

6. 講義について、もっと知りたいと思ったことや、こういった観点からの講義をして欲しいなど要望があれば教えて下さい。

- ・基礎をもっと知りたい。(多数)
- ・最新の研究内容が知りたい。(多数)
- ・鉄の作り方を初めて知ったため、もう少し初歩的なところを説明も聞きたかった。
- ・製鉄・製鋼についての知識に加えて、その分野に対する先生の意見などもっと聞きたかった。
- ・製鉄・製鋼の全体的なフローを改めて復習できて良かった。
- ・もっと専門的な範囲まで講義を聞きたかった。
- ・その分野における最新の研究内容などを絡めた話なども聞きたかった。
- ・講義内容は基礎的な部分が丁寧に話されており、非常に分かりやすかった。そのうえで、大学では実

際にどのような基礎研究が行われているのかについて、より具体的な事例を交えて伺ってみたいと感じた。

- ・最近の鉄鋼業における課題や、それらの課題に対して学生や企業がどのように解決に向けた研究を行うべきかについて知りたい。
- ・製鉄の過程、歴史について分かりやすく講義をしていただいて、多くのことを学ぶことができた。それぞれの講義で、もう少し専門的な研究内容などを聞いてみたいと思った。
- ・高炉に限らず、電気炉法についても詳しい講義があれば嬉しかった。

【材料コース】

- ◆開催日：2025年11月17日(月)～19日(水)
- ◆開催場所：JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)見学センター
- ◆工場見学：JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)
- ◆受講生：12名(M1：8名、M2：2名、D1：2名)

1. 本セミナーを何で知りましたか？

- ・協会ホームページ：0名
- ・鉄鋼協会からの案内：1名
- ・先生の推薦：11名
- ・先輩のすすめ：0名
- ・その他：0名

2. 本セミナーに参加した動機について

- ・他大学との学生と交流したかった。(多数)
- ・自分の研究に活かすため。知識を得るため。(多数)
- ・鉄鋼会社、業界のことを知るため。(多数)
- ・鉄鋼の製造現場を見たかった。
- ・自身の研究を進めるため、色々な方と交流したいと考えたため。
- ・企業の方の現行研究も知りたかったため。
- ・日本の有名な製鉄会社について知りたかったため。
- ・普段、計算系の研究を行っているため、製造現場の見学やほかの学生の発表の聴講を通じて、計算ではない見方、考え方を学びたかったことが動機。
- ・研究室の先輩が参加しており、他大学の学生と仲を深めることができ、楽しかったという話を聞いたため。
- ・鉄鋼会社の方、他大学の先生、大学の学生の方と自分の研究テーマについて話し合うため。また、鉄鋼会社の方がどのようなことを普段されているのか知りたかったため。
- ・同級生などにあまり鉄鋼の研究をしている人がおらず、交流してみたいと思ったため。
- ・自身の今後の研究につながる学びが得たいと思ったため。
- ・博士課程への進学が決まっており、研究や学びのために、他大学との交流を深めておきたいと思ったため。
- ・鉄鋼業界の情報収集のため。
- ・鉄鋼材料の研究をしており、他の学生とのディスカッションを通じてさらに知識を深めたいと思ったため。
- ・自分の研究に対してのアドバイスをもらうため。
- ・他の人の研究発表を聞くことで、自分の研究に関する知見を得るため。

3. セミナーはいかがだったでしょうか。

1) 企業若手発表

- ・非常に役立った：11名
- ・やや役立った：1名
- ・あまり役立たなかった：0名
- ・ほとんど役立たなかった：0名

2) 各社紹介

- ・非常に役立った：11名
- ・やや役立った：1名
- ・あまり役立たなかった：0名
- ・ほとんど役立たなかった：0名

3) 自分の発表へのコメント・アドバイス

- ・非常に満足：9名
- ・おおむね満足：3名
- ・あまり満足していない：0名
- ・ほとんど満足していない：0名

4) 他学生の発表

- ・非常に役立った：10名
- ・やや役立った：2名
- ・あまり役立たなかった：0名
- ・ほとんど役立たなかった：0名

5) 懇親会

- ・非常に満足：11名
- ・おおむね満足：1名
- ・あまり満足していない：0名
- ・ほとんど満足していない：0名

6) 工場見学

- ・非常に満足：12名
- ・おおむね満足：0名
- ・あまり満足していない：0名
- ・ほとんど満足していない：0名

4. 満足あるいは満足できなかったところを具体的に教えてください。

1) 満足できたところ

- ・企業の方の研究を聞き、勉強になった。
- ・発表会や懇親会を通じて、他大学の学生と研究に関する議論を思う存分できたこと。
- ・企業若手発表について、企業の社員が日々の業務において意識していることなどを知ることができ、大変興味深かった。研究室の環境とは規模や発想が少し異なるため、すべてを生かすことは難しいが、良かったと感じた部分は積極的に取り入れていきたいと感じた。
- ・他学生の発表について、自分にはない着眼点で研究を始めている人がいるという事を知ることができて良かった。
- ・企業の方、大学教員も含めた懇親会は様々な話が聞けて良かった。
- ・各社紹介について、鉄鋼企業が揃って少人数に対して企業説明をしていただけることがあまりなく、質問しやすい雰囲気でもとても良い経験だった。
- ・工場見学について夏に来たときは暑すぎてゆっくり見られなかったが、今回は詳しく見ることができて良かった。
- ・他学生の発表を聞いてとても刺激を受けた。今後の研究活動へのモチベーション向上につながる良い機会だった。こういう実験を取り入れたいなど、今後やりたいことも考えられる良い機会だった。
- ・企業若手発表について、様々な部署の方の話を聞くことで、鉄鋼会社で働くことへの解像度が上がったため良かった。他の学生の発表について、普段聞くことのない内容の研究を知ることができて良かった。
- ・自分の研究発表に対するコメントについて、他大学の学生からの質問から自分の発表の不十分さが分かったことや、先生方や企業の方から今後のアドバイスや考察についてのアドバイスを頂けた

ことが良かった。

2) 満足できなかったところ

- ・もっと発表したかったが、時間が足りなかったため、少し残念だと感じた。
- ・強いて言うなら、研究発表で長時間同じ椅子に座り続けて首が痛くなったこと
- ・どの項目についても非常に満足している。あえて挙げるのであれば、自分の発表について先生からコメントをいただくことができなかった点が少し残念であった。その分、他の学生から様々な質問をもらうことができ、これからの研究がより楽しみになった。
- ・各社紹介について、鉄鋼会社志望以外の方もいたため、仕方がない部分はあるが、鉄鋼会社のことある程度調べている人からすると、より深い話があるとさらに良い。

5. 今回のセミナーで印象に残った内容は何か。

- ・企業若手発表：2名
- ・各社紹介：1名
- ・自分の発表へのコメント・アドバイス：2名
- ・他学生の発表：5名
- ・工場見学：2名

どんなところが印象に残ったか具体的に教えて下さい。

- ・普段見ることができない工場を見学することが出来たこと。
- ・工場見学内での案内や説明がとても分かりやすかった。
- ・各社紹介で、生産部門と顧客をつなぐ重要な役割があることを知りました。研究者としても、自分の考えや成果をわかりやすく伝える方法を考えることが大切だと感じた。
- ・製鉄所見学は初めてだったため、工場のスケールの大きさに圧倒された。膨大な量の鉄の生産に携われる鉄鋼会社に魅力を感じた。
- ・各鉄鋼メーカーの企業紹介を連続で聞いたことで、それぞれの会社の思いや大切にしていることの違いを明確に整理することができた。これから本格化する就職活動において、鉄鋼メーカーを選ぶ際の参考になった。
- ・自分と同年代の学生が、どのようなテーマについて、どのような方法で研究を進めているのか分かり、参考になった。
- ・どの発表して下さった社員の方も、具体的に業務の流れや詳しい事例についての説明があり、業務の解像度が増した。懇親会も合わせ、色々なお話を聞くことができ良かった。
- ・発表について、スライドの構成はもちろん、専門外の人にも理解させることがうまい人が多くて刺激になった。
- ・普段は全く触れていない分野もあり、刺激を受けた。
- ・他学生の発表について、まだ結果が出ていないものでも、今後の計画などを聞いたのが学会と違い面白かった。
- ・発表が終わった後の休み時間に企業の方がこういうアプローチをしてもいいのではとアドバイス下さり、一緒に考えて下さったことが嬉しかった。
- ・鉄鋼、非鉄金属の研究といえば、実験や組織観察を行うことが基本だと思っていたが、シミュレーションを行う方も何人かいたため、様々なアプローチがあると感じたこと。
- ・先生方、企業の方に懇親会で自分の研究に対して面白いや今後の気になる等のコメントをいただいたことが印象に残った。

6. 企業若手発表、各社紹介について、もっと知りたいことなど要望などがあれば教えてください。

- ・DX化のことはもっと知りたい。
- ・今後もCPBについて少し勉強する予定。
- ・1日のスケジュールや、今感じていることなどの個人ベースの話がもっと知りたかった。
- ・若手の方やそれ以外の社員の方が、普段1日の中でどのようなことをされているのか聞きたい。
- ・企業の中で、どのような失敗から何を学び、会社全体としてどうしたのか聞いてみたかった。
- ・DXやカーボンニュートラルへの取り組み以外の部分での、各社の最近力を入れている部分も知りたい。
- ・1つの部署だけでなく、様々な部署の方の話も聞いてみたいと思った。

- ・進学ではなく就職を選択した理由や、製鉄所を選択した理由、仕事が楽しいややりがいを感じたことなど知りたかった。

7. このセミナーに参加して、将来の職業感に、何か変化はありましたか？

- ・製品に直結した研究開発ができる会社に魅力を感じた。
- ・鉄鋼業界には幅広い活躍フィールドがあるという話を聞き、自分に合ったやることを見つけられるという期待が膨らみ、鉄鋼業界に対する興味が増した。
- ・自分の研究と職業の関わりについて考える機会になった。
- ・元々鉄鋼業界を志望していたが、各社の紹介等を通じて、よりその思いは強まったように感じた。
- ・今回参加された企業についてより解像度が上がった。
- ・鉄鋼会社のイメージに大きな変化は無かったが、働くイメージが少し掴めた。
- ・今回のセミナーを通じて鉄鋼会社へさらに関心が深まった。また、懇親会で多数の企業の方と交流でき、高炉三社以外にも興味があった。
- ・工場見学や若手研究発表を通じて、より現場操業に関わりたいという気持ちが高まった。
- ・今までは自分の研究分野に近いことを行ないたいと考えていたが、様々な人の発表を聞くことで自分の視野が広がり、様々な分野の研究を行ってみたいと感じるようになった。
- ・他社のインターンシップなどで研究開発ではなく生産技術を体験させてもらう機会があったが、今回のセミナーを受けて、鉄鋼材料の研究開発職に興味を持った。

以上